



JAみえきた 自己改革実践中

JAみえきたは「**農業者の所得増大**」
「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」に向けた
自己改革に徹底的かつスピード感を持って
全力で取り組んでいます。
その成果をご覧ください。



JAは、農業者を中心とした「組合員」が、農家の営農と生活を守り高めることなど、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

JAの組合員とは？

組合員には「正組合員」と「准組合員」の2種類があります。

「正組合員」は農業を仕事にしている人（団体）、「准組合員」は地域に住み農業以外の仕事をしている人が、地元のJAに出資を行い、JAの利用を約束して加入することができます。

「正組合員」も「准組合員」もJAのいろいろな事業サービスや施設を利用することができます。↗

正組合員の皆さんは地域農業の担い手です！

正組合員

農地を所有している人、もしくは農業を仕事にしている人(団体)です。

当JAの正組合員数
(2018年9月30日現在)

21,918名

JAの「総合事業」とは

JAでは、皆さまの営農やくらしのあらゆる面に役立てていただけるよう、右のような事業を行っています。

多様な事業を総合的に展開することで、地域農業の振興や地域づくりに努めています。

とりわけ収支が厳しい農業関連事業は信用事業や共済事業を含めた総合事業だからこそ、営農指導員の配置や大規模な農業施設投資が実現できています。





J Aマークは「Japan (日本) Agricultural (農業の) Co-operatives (協同組合)」の頭文字をとったものです。

大きい三角形は自然・大地、小さい三角形は人間を表し、左端の円は実り、さらに人の和を象徴しています。緑色は自然環境と成長を表しています。

「准組合員」は、「正組合員」と違い、総代会での議決権や役員の選挙権などJ Aの運営に関与することができませんが、地域を支える協同組合の仲間たちです。

また、組合員ではない人でも、J Aの事業や施設を利用することができます。

准組合員の皆さんは地域農業の応援団です!

准組合員

農業以外の仕事をしている人です。
農産物の購入やJ Aを利用することで、
正組合員の農業経営を支える存在です。

当J Aの准組合員数
(2018年9月30日現在)
28,898名

准組合員の意義

准組合員のJA利用が地域農業を支えています

准組合員は、J Aの事業を利用したり、地域の農畜産物を消費することを通じて、正組合員とともに、地域の農業とくらしを支える存在です。

准組合員の事業利用によりJ Aの経営が安定し、農業関連事業の実施や地域に必要な生活サービスの維持が可能となるなど、正組合員にとってもメリットがあります。

准組合員の事業の利用が制限されるかどうかは決まっていますが、仮に制限が実施された場合、准組合員は事業が利用できなくなるほか、正組合員にとっても、営農指導員の配置や大規模な農業施設投資を実現できなくなる恐れがあります。

I 「多彩な農業」の維持・拡大

担い手確保・育成



担い手研修会 農業経営に役立つセミナー

近年の農業情勢に対応した経営所得安定対策や、収入保険制度への対応を目的に、担い手研修会や農業経営に役立つセミナーを2年6カ月の間に114回開催し、延べ2,632名の方に参加いただきました。

成果

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度(9月末)	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
茶の栽培講習会	2回	65名	2回	70名	1回	27名
指定産地・新規作物・野菜の栽培講習会	38回	552名	43回	681名	23回	519名
法人化セミナー	1回	35名	1回	33名		
担い手農業者セミナー	1回	180名	1回	200名	1回	270名
合計	42回	832名	47回	984名	25回	816名

農業所得増大・ 地域活性化応援プログラム



地域農業基盤の強化及び地域活性化に繋げることを目的に、JAグループ三重が展開する「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」を活用した助成に取組み、2年6カ月で合計164件の申請を受け付け、助成金額は4,400万円となりました。

成果

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度(9月末)	
	申請件数	助成金額	申請件数	助成金額	申請件数	助成金額
三重県産和牛繁殖基盤強化事業			1件	466千円	1件	335千円
茶における品質向上対策事業	61件	11,674千円	63件	12,457千円		
茶における農機具等リース応援事業	9件	12,217千円	平成28年度で助成終了			
園芸事業バリューチェーン構築応援事業	3件	500千円			10件	1,300千円
三重県産農畜産物情報発信応援事業			2件	521千円		
JA農業生産活動実践応援事業	1件	238千円	1件	231千円		
専門家派遣事業	1件	30千円	9件	535千円		
JA農産物直売所における店舗指導・コンサルティング事業	1件	1,000千円	四季菜尾平店の店舗拡張整備に活用のため 平成29年以降無し			
JA農産物直売所機能強化応援事業	1件	2,500千円				
合計	77件	28,159千円	76件	14,210千円	11件	1,635千円

米事業の革新と「良質米づくり運動」の展開



紋枯病対策薬剤の散布苗

管内で発生が増加している「紋枯病」に対応した薬剤散布苗を、平成 30 年度より全地区で提供しています。少しでも収量アップに繋がり、農業者の所得増大に寄与することを目的としており、販売価格は従来の薬剤散布苗と変更なく据え置きとしています。

成果

項目	平成 29 年度以前	平成 30 年度
薬剤散布苗の特徴	「いもち病」「害虫」に対応	「いもち病」「 紋枯病 」「害虫等」に対応

品質向上と収量アップをめざしましょう！



肥料・農薬の価格抑制

農家の生産コスト削減への取組みとして、低コスト資材の供給、また品目の絞り込みや銘柄を集約することにより、水稻肥料の価格抑制に努めました。

また、安価な農薬販売にも取組みました。



成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9月末)
価格を抑制した肥料		3 銘柄	1 銘柄
〃 農薬	5 銘柄	16 銘柄	

農業者のトータルサポート

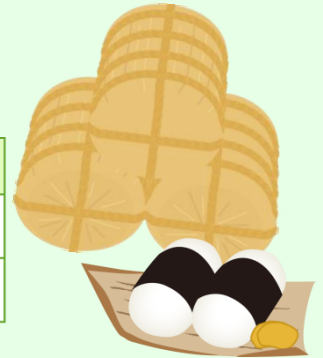


保有米の 15kg袋を新設

農家の高齢化が進む中、「もっと軽く、持ち運びやすくしてほしい」との要望を受け、従来の保有米袋 30kg袋の半分となる 15kg袋を新設しました。今年度より管内全域で取り扱いを始め、多くの利用者からご好評をいただいております。

成果

項目	平成 29 年産	平成 30 年産
取り扱い地区	四日市地区のみ	管内全域
全体のうち 15kg袋の割合		約 36%



肥料や農薬、水稻苗の購入額
に応じた還元！



事業分量配当 (肥料・農薬・水稻苗)

生産コストの削減により、農業者の所得向上を支援するため、肥料・農薬の購入金額に応じた組合員への還元として「事業分量配当」を実施しています。平成 29 年度分では、水稻苗についても実施しました。

成果

実施年月	配当金額	基準
平成 29 年 7 月	5,664 万円	肥料・農薬 購入金額に対して 5%
平成 30 年 7 月	7,060 万円	肥料・農薬・ 水稻苗 購入金額に対して 5%



GAP認証取得支援

産地・農業者が食品安全、環境保全、労働保全等に取り組むことが生産管理・効率性の向上や経営意識の向上にも繋がるため、「JAみえきたGAP支援チーム」を立ち上げ、GAP認証に向けた支援を行っています。

JGAP
認証登録証明書



成果

取得年月日	取得先
平成 30 年 8 月	上記チームが支援した 四日市地区の担い手農家が初取得
平成 30 年 10 月	JAみえきたの子会社 ㈱JAみえきたアグリ 多度事業所が取得

【支援内容】書類作りや農薬保管方法等、認証基準に照らした助言や模擬審査など



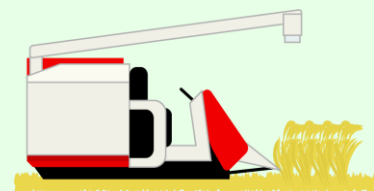
農機シェアリース

農機のコスト低減や経営規模の拡大に貢献し、農業者の所得増大や農業生産の拡大へ繋げることを目的に、JAグループとJA三井リース㈱が共同ですすめる「農機シェアリース」に三重県下で初めて取組みました。

農機の追加購入の資金に余裕がない
故障時の費用負担が心配
受託面積を広げて、収益を確保したい



そんな生産者のニーズに
応えるサービスに
努めます！



「農業」と「福祉」の連携

福祉事業所に対して、営農指導や直売所を通じた農産物の出荷・販売等において包括的な支援を行っています。今後も障がい者の就労の機会と収入の確保、耕作地の遊休化の防止・承継など地域の活性化に寄与していきます。



マーケットインに基づく生産・販売の拡大

6次化商品(加工品)

6次化商品の開発・販売を行い、地元農産物のPRや消費拡大に努めました。平成30年度には既存商品に加え、「四日市とんてきソース」と「こしひかりごはん」の販売を開始しました。

NEW!



成果

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度(9月末)
6次化商品開発点数(合計点数)	2点(8点)	5点(13点)	2点(15点)

農産物直売所事業の拡大



農産物直売所事業

商品アイテム数の充実や、イベントカレンダーの作成、毎週のサービスデーを定着させるなど販売拡大に取り組めました。
また、安全・安心に配慮し、残留農薬検査は、無告知で毎月実施しています。
SNSのLINE@を利用した集客にも取り組みました。

成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9月末)
出荷生産者の増加数	73 名	74 名	37 名
残留農薬検査の実施	8 件	13 件	8 件
直売所(12 店舗)の年間売上金額	16 億 6,163 万円	17 億 1,482 万円	8 億 4,524 万円
〃 平均単価	1,411.7 円	1,463.4 円	1,488.8 円
農薬勉強会 開催回数	3 回	6 回	3 回
〃 参加者数	52 名	53 名	21 名

四季菜尾平店の拡張

平成 29 年 4 月のリニューアル後、精肉の販売や惣菜コーナー、試食コーナーの設置等、積極的な商品販売に努め、売上や平均購入単価、購入者数、出荷者数が伸びており、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に貢献しています。



成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9月末)
売場面積	205 m ²	420 m ²	420 m ²
年間売上金額	2 億 1,912 万円	3 億 4,788 万円	1 億 8,002 万円
平均単価	1,342.0 円	1,484.4 円	1,562.5 円
購入者数	16 万 3,271 名	23 万 4,346 名	11 万 5,215 名



Ⅱ 協同活動実践による「元気な地域づくり」

生活メインバンクへの取組み



年金友の会

年金振込者の方を対象とした年金友の会の1年間の活動では、親睦大会に約 3,000 名の参加をいただき、楽しんでいただくことができました。また今後グラウンドゴルフ大会に約 2,200 名、シニアゴルフ大会に 180 名と多数の方にご参加いただく予定となっております。



成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9 月末)
年金友の会会員数	36,536 名	37,388 名	39,248 名
年金友の会親睦大会参加者数	2,662 名	3,071 名	2,844 名



融資相談機能の強化 「休日ローン相談会」「あぐりーど」

休日ローン相談会等各種相談会を開催し、相談機能の充実にも努めました。

また、平成 29 年度より当JA独自の農業資金「あぐりーど」の取扱いを開始し、資金面で地域の農業支援に取り組んでいます。

成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9 月末)
休日ローン相談会 開催回数	153 回	154 回	80 回
“ 相談件数	208 件	215 件	178 件
農業資金「あぐりーど」取扱件数		51 件	24 件
“ 取扱金額		3 億 4,799 万円	1 億 4,218 万円

食農教育活動の拡充



赤とんぼのふるさと探し



「食」と「農」の大切さ

(赤とんぼのふるさと探し・小学校出前授業等)

子どもたちに「食」と「農」の大切さを知ってもらおうと、JAでは小学校への出前授業(豆腐・みそ・うどん作り等)や、子どもたちの生息調査の場「赤とんぼのふるさと探し」として、赤とんぼを育む豊かな環境(農地・水田)に子どもたちが関心を持ってもらえるようほ場を設け、化学肥料・化学合成農薬を低減した「赤とんぼ米」作りに取り組んでいます。

成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9月末)
親子料理教室開催	5 回	6 回	3 回
小学校出前授業開催	26 クラス	36 クラス	2 クラス

「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供



雪害、台風被害など 自然災害への対応

組合員・利用者及び地域の皆さまへ「安心」と「満足」を提供出来るよう、共済の保障充実に向けて取り組んでいます。

平成 29 年 1 月の雪害被害や平成 30 年 9 月の台風被害での支払いなど、建物更生共済は多くの方の暮らしに役立つことが出来ました。

成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9 月末)
自然災害支払件数	4,891 件	6,914 件	1,704 件
〃 支払共済金	13 億 6,353 万円	20 億 9,752 万円	4 億 6,095 万円

大相撲 JAみえきた場所

スポーツを通じた地域の活性化を目的に、平成30年10月に「大相撲 JAみえきた場所」を開催しました。稽古の様子や白熱した取組を観戦していただき、組合員をはじめ多くの方楽しんでいただきました。



地産地消推進の一環として販売している「パックごはん」を来場者全員に配布しました！



会場で警察による啓発活動も実施されました

女性部、助け合い組織の活動

支え合い、助け合い運動

女性部、助け合い組織では、みんなで作る元気な地域づくりに努め、介護支援、病院ボランティアを積極的に実施しました。また、高齢者の方の健康維持・増進をサポートするため、介護予防、健康づくり講習会等を開催し、地域の方にご好評をいただいています。



成果

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度(9月末)
介護支援、病院ボランティアの実施回数	240回	240回	120回
認知症サポーター養成研修回数	1回	2回	1回
介護予防、健康づくり講習会等開催回数	12回	13回	12回



防犯カメラ増台・高精細化

利用者が安心して利用できる窓口づくりを目的に、各信用店舗の防犯カメラの増台・高精細化を進めています。平成30年度中には、全54店舗への高精細カメラ導入を予定しており、今後もより一層安心の窓口づくりに努めていきます。



“安心のJA”とって
もらえるように

成果

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度(9月末)
1店舗当たりの防犯カメラ平均台数		約4台	約8台
高精細カメラ導入済店舗数(合計店舗数)	4店舗(4店舗)	22店舗(26店舗)	12店舗(38店舗)



ペットボトル茶の 売上一部寄付

毎年たくさんの方に購入いただいているペットボトル茶の売上の一部を、管内行政機関へ寄付しており、地域貢献に繋ぐことができました。今後も事業活動を通じて地域の貢献活動に取り組んでいきます。

JAみえきたオリジナル
かぶせちや
「冠茶」



成果

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ペットボトル茶売上寄付金額	328千円	412千円	435千円

III 組織経営基盤の強化

正組合員の維持・拡大



相続・事業承継支援

組合員世帯のくらしを守るとともに、円滑な資産承継のお手伝いをするため、平成 29 年度より「相続・事業承継支援相談窓口」を設置し、各地区で「相続セミナー」を開催しています。また、セミナー開催後も相続・事業承継の理解浸透のため、訪問活動等を行っています。



セミナー参加者の方には
エンディングノートをプレゼントしています

成果

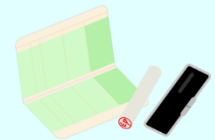
項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9 月末)
相続セミナー開催数		14 回	7 回
” 参加者		305 名	159 名
相続事業承継相談依頼件数		106 件	57 件

安定した金融(信用・共済)収益構造の構築



貯金増強

サマーキャンペーン、年金定期「結いの恵み」、退職金定期等の企画により、順調に貯金残高を積み上げることができ、皆さまに、より一層の安心をお届けできる安定した金融収益構造を構築し、総合事業による地域農業の活性化に繋がっています。



成果

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度(9 月末)
総貯金残高	6,687 億 8,100 万円	6,869 億 3,683 万円	6,980 億 8,828 万円
相続・遺言無料相談会 開催回数	12 回	12 回	5 回
” 相談件数	68 件	60 件	31 件

皆さま、大相撲の様式美と迫力を
ご堪能いただけたでしょうか。



農家の皆さんを笑顔に 地域の皆さんを元気に

このスローガンのもと、JAみえきたでは自己改革の一環として、
合併五周年を機に大相撲地方巡業を誘致し、日本の国技を通じて、
皆さんを笑顔に、そして皆さんに元気になっていただければと
「大相撲JAみえきた場所」を開催させていただきました。



JAみえきたは自己改革を実践していきます



JAみえきた